

# 東京ジョブコーチ

公益財団法人東京しごと財団委託事業 東京都補助事業



## CONTENTS

- |   |                 |  |                      |
|---|-----------------|--|----------------------|
| 1 | Customers Voice | 株式会社ココカラファイン<br>Zebra Japan株式会社<br>東京都立港特別支援学校<br>江戸川区立障害者就労支援センター | P2<br>P3<br>P4<br>P5 |
| 2 | 東京ジョブコーチ支援室とは   |  | P6                   |
| 3 | ご利用にあたってのQ&A    |  | P6                   |

東京ジョブコーチ職場定着支援事業広報紙（年2回発行）

2016.9  
第9号

株式会社ココカラファイン

経営戦略本部 人事部 吉田 恵津子 様



吉田 恵津子 様

商社勤務を経て2006年(株)セイジョー(当時)入社。総務本部人材採用部での障害者雇用担当を経て今年7月より経営戦略本部人事部配属となる。

株式会社ココカラファイン

【経営理念】

ココロ、カラダ、ゲンキ。-「人々のココロとカラダの健康を追求し地域社会に貢献する」

【本社所在地】神奈川県横浜市

【設立】2008年4月

【事業内容】ドラッグ事業(セイジョー、ドラッグセガミ、ジップドラッグ、LIFORT、クスリのコダマ等)、調剤事業を柱に介護、在宅調剤、インターネット販売などの健康関連サービスを総合的に提供している。

「事業内容について教えて下さい。」  
弊社は、ドラッグストアと調剤薬局を主力事業として展開しています。また、グループ会社には介護事業の取り組みをしたり、プライベートブランド(PB)を企画したりする部署もあります。ドラッグストアは、国内に約一、三〇〇の店舗がありま  
す。また、海外では中国の上海にも  
出店しています。

障がい者雇用の状況を  
教えて下さい。

二〇一六年五月現在、雇用の割合は身体障がいの方二一%、知的障がいの方三七%、精神障がいの方三二%です。主に店舗雇用を中心に進めています。品出し、日用品や食品の補充、在庫チェック、清掃等の業務を行っていただいています。ご存知の通り、私どもは統合した会社ですが、統合当時は会社によって障がい者雇用に対する理解度に大きく差が見られました。セガミは約一〇年前より雇用を行っていたため、ある程度理解が浸透していました。一方、セイジョーは雇用実績が少なく、雇用に対する不安の声が聞かれることもありました。そのため、

定期的な面談を行い、

疑問や不安に応える取り組みをしています

店長が集まる会議に就労支援センターの方をお招きして研修会を開き、理解促進に努めたこともあり  
ます。  
また、障がい者を初めて雇用する店舗に対しては障がい特性に応じたマニュアルを配布し、勤務開始前に人事担当者から対応上の説明を行っていただきます。そして、入社後一・三・六ヶ月を目安として定期的な人事担当者が職場を訪問し、ご本人との面談や店長からのヒアリングを行うようにしています。ご本人に近況を確認するとともに、店長からご本人の様子を聴き取り、疑問や不安に答える機会をつくるようにしています。

人事担当者が店舗に積極的に  
関わっているんですね。

ただ、特に精神障がいのある方は、私たちの訪問時には順調に勤務されているも、店長から普段のご本人の様子を聞くと「この間も体調が悪そうでした」と相談を受けることが多く、課題の情報把握が難しい場合もあります。支援機関に定期的な相談しながら働

今回の支援をケーススタディとして、  
これからも障がい者雇用を進めていきたいです

今回、障がい者雇用に関する御社の展望をお聞かせ下さい。  
今後、障がい者雇用に関する御社の展望をお聞かせ下さい。  
今後、障がい者雇用の目的や意義、特性や対応方法をテーマとして盛り込んでいこうという計画があります。将来、新入社員が店長や指導的立場に立った時に障がいのある方の対応をする可能性は十分にあります。その時に必要なノウハウ等、基本的な知識を身に付けてもらう機会にしていきたいです。企業理念「ココロ、カラダ、ゲンキ」の通り、障がいのある方に無理なく働き続けていただくために、充実した生活を送っていただくために、皆さんの助けを借りながら取り組んでいきたいです。

「JIC支援は、いかがでしたか。」  
最近、統合失調症のAさんの店舗勤務に際しJIC支援をお願いしました。JICの方から細やかに支援経過のご報告をいただいたので、状況が良くわかりました。人事が店舗へ頻りに訪問しなくても良かったのでとても助かりました。実は以前、支援機関によつては、支援をお願いしてもなかなかご報告いただけず困ることがありましたが、例えば、体調面等ご本人に変わりが生じた時、店舗から本社への報告と、支援機関の方から本社へいただく報告に時間差があったことが対応にズレが生じてしまったことがありました。今回のAさんへの支援を関係する支援機関の方々と連携をとることができ、とても連携体制ができています。今回のような

ご本人への関わり方が難しいと感じることは少なくないと思います。毎回関係者が全員出席することは難しいと思いますが、それに近い形で会議等を開催し、情報共有していけると良いですね。一番大事なことは、企業と支援機関とが相互協力し、同じ目線で障がいのある方に対応していくことだと考えます。JIC支援を通して、弊社の障がい者雇用における一つのケーススタディが出来上がったと実感しています。



横浜本社にて

Zebra Japan 株式会社

多々良 真紀 様 浅野 健太 様



多々良 真紀 様  
2013年より人事総務部採用・教育チームにて人事全般を担当。  
企業在籍型職場適応援助者(ジヨブコーチ)。

ジヨブコーチが本人のやる気を引き出してくれました

国内での事業展開について教えてください。  
多々良様(以下T)：弊社は本国デンマークのフライング タイガー コペンハーゲンを日本で展開するため、本国の Zebra A/S と サザビリーがとが五〇%ずつ出資して二〇一一年七月に設立した会社です。大阪心斎橋のアメリカ村ストアが日本における一号店で、こちらの表参道ストアは二号店です。

多々良さんの仕事内容を教えてください。  
T：人事総務部で採用・教育を担当しています。以前所属していたサザビリーがカンパニーでもトレーニングや人事制度設計等、人事関連の仕事をしていました。

障がい者雇用はどのように進められたのでしょうか。  
T：一四年七月にサポートセンター(本社)で初めて障がい者の方を採用しました。その後、国内の店舗数が当初の二店舗から約二〇店舗と急激に増えたため一五年夏には八名の障がい者を雇用しないといけない状態になりました。とにかく雇わなければならぬ状況の中、就労場所はもうストアしかない、という会社の判断もあり、まず都内の路面

ゼブラジャパン株式会社

【親会社】Zebra A/S (1995年、デンマークコペンハーゲン)  
【事業内容】北欧デザインの雑貨チェーン店  
【店舗数】ヨーロッパを中心に世界28か国と地域で643店舗を展開。日本では東京を始め25店舗出店中(2016年7月現在)。  
【国内における事業展開】  
2011年7月 日本法人「Zebra Japan 株式会社」設立  
2012年7月 大阪心斎橋に「フライング タイガー コペンハーゲン」アジア1号店がオープン

店での募集を出すに至りました。

雇用当初、ストア側の反応はいかがでしたか。  
T：雇用を進める上で、障がいの方の仕事が覚えるまでのサポート、賃金、コストについてはストアではなく、サポートセンターが全て一括して管理する体制を整えました。また、障がいのある方が戦力として活躍できるようにすると、ストアも助かるという雇用のメリットも伝えていきましたが、それでも最初はなかなかストアの理解を十分に得ることができませんでした。

障がいのある方と一緒に働いた経験がないから、誰もが不安を感じたのだと思います。その後も、採用から定着までの全責任は人事が引き受け、と伝え説得を続けました。人事で障がい者雇用に携わっているのは私一人しかいなかったのですが、やります！と。後は、支援機関のサポートをしっかりと受けられることを障がいのある方の入社時の大切な条件とし、ストアでも精神障がいの方を雇用することができました。仕事としては、バックヤード業務全般、清掃、検品、商品補充、レジサツカー、簡単なお客様対応等を行っていただいています。



多々良さん(右)とスタッフの浅野健太さん(左)

東京ジヨブコーチの方の仕事ぶりに感銘を受け、最近、企業在籍型ジヨブコーチ養成研修を修了しました

雇用後、東京ジヨブコーチ(以下、JC)をご利用いただきました。  
T：正直なところ、利用する前はJC事業の事をよく知りませんでした。勤務初日から、統合失調症Aさんの採用にあたり、支援機関の方の勧めもあって初めて利用しました。勤務初日からJCの方が、ご本人にとつてわかりやすい指示の出し方、特性を理解した上での作業やスケジュールの組立て方についてプロの視点から教えて下さいました。JCの方の丁寧なアドバイスのおかげで、こういう風にすればいいんだ！とスタッフ全員が対応方法を理解することができました。

精神障がいのあるBさんにも、Aさんと同じJCの方に支援をお願いしました。事前にJCがご本人と面談を行い、ご本人に受け入れてもらうプロセスを重視して下さいました。おかげでスムーズに進みました。私たちがご本人の「やる気スイッチ」が分からなかったのですが、JCはその「スイッチ」を見つけてパチッと押ししてくれたんです。ご本人の意欲を引き出し、めざましい成長につながってくれました。

浅野様(以下A)：今もBさんには活躍していただいています。元々ストアにはスタッフ間で「ありがたう」と自然に言い合える温かい雰囲気がありました。Bさんの入社を機に、もっと働きやすい環境にしたい

という皆の想いから、普段の挨拶やフロアの声かけ等コミュニケーションションへの意識が高まりました。  
T：JCの方との出会いをきっかけに、私自身がジヨブコーチという仕事に関心を抱くようになり、最近、企業在籍型職場適応援助者(ジヨブコーチ)の養成研修を受け、修了しました。



フライングタイガー表参道ストアにて



東京都立 港特別支援学校 職能開発科 進路指導部  
進路専任 荻野 俊樹 様 進路指導主幹 安田 賢 様

生徒本人が進路を選べるように情報発信しています

—普通科と、今年度から始まった職能開発科について、それぞれの特色、取り組みを教えてください。

荻野様(以下O)：当校は「自己選択、自己決定を目指す進路指導」を三年間のカリキュラムで考えています。普通科の特色を紹介しますと、一年次には、働くことのイメージや適性を知るための学習をし、一日職場体験に行きます。二年次は実際に数日間の実習に行き、進路の方向性を考えます。三年次には自分の長所や特性、興味といった強みを生かした職業を考え、自分で決定します。生徒本人が選んでいけるように学校側も情報を発信していきます。

安田様(以下Y)：今年度スタートした職能開発科は、三、三倍の倍率で二〇名の方に入学いただきました。職能開発科は軽度から中度の方を対象としているため、学習などの焦点化がしやすく、二〇名という少数人数制であればいろいろできるのではないかと思います。職能開発科では二つの柱を考えており、一つは、生徒の体験実習やインターンシップの機会をもう少し増やせないかということ。

今はまだ一年生の五月(注：取材時)ですが、企業へ体験実習に行きます。

進路専任 荻野 俊樹 先生  
2009年普通科進路担当として配属。今年4月より職能開発科進路専任としてご活躍されている。

東京都立 港特別支援学校

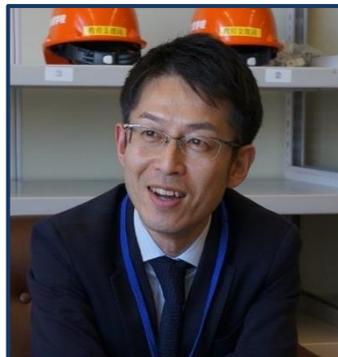
【沿革】

1982年4月開校  
2014年4月小中学部が青山特別支援学校に移り、高等部単独校となる  
2016年4月職能開発科がスタート  
【生徒数】普通科 172名  
職能開発科1年 20名  
【学区域】品川区・港区・目黒区・渋谷区、大田区の約半分と千代田区の一部(職能開発科は都内全域)  
【アクセス】JR品川駅より徒歩15分

—実習先や求人の開拓は、どのように進めていますか。

O：ハローワークとの連携ももちろんですが、企業へ電話をかけ、職場体験を受け入れてもらえないか、と直接お願いしています。最近は、障がい者雇用に意欲的な企業も多く、数日間の現場実習をさせていただく機会も増えました。

Y：当校の強みは、周りに企業が多く存在する立地の良さで、今までに荻野が培った企業とのネットワーク



進路指導主幹 安田 賢 先生

どこの学校よりも早いです。もう一つは、保護者に学習していただく機会を提供すること。荻野と私で、進路便りによる情報発信や、保護者向けの見学会や講演会開催を定期的に行っているかと考えています。

ク力です。また、就労した卒業生の通勤時間は一番短い方で一〇分、長い方で六〇分で、トラブルが起これば、私たちも最短で五分、最長でも六〇分です。企業に任せたままらず、何かあったら私たちがすぐ行きます、と事前にお伝えしているの、受け入れが初めての企業の方も安心して「では実習生を受け入れてみましょうか」と言っています。

実習を含め、初期定着をしつかりと支援してもらえることが東京ジヨブコーチの大きなメリットです

—毎年度、知的障害二度の方が就職されていると聞きました。

O：昨年度は三十一名の卒業生のうち一名が企業就労することができました。そのうち職業重度判定八名の知的障害三度が三名、二度が三名です。一昨年も二度が二名、三度が三名、合計五名です。辞めずに続けています。二度の五名は全員、東京ジヨブコーチ(以下JC)に関わっていただきました。

—JCをご利用いただいているエピソードをお願いします。

O：あるホテルでの実習の際、JCをお願いしました。本人は照れ屋で、最初、話し出せない事から硬直してしまふのです。動けなくなつた時にJCがタイミングを見計らって話をしてくれました。コミュニケーションが難しいので、導入部分で職場と本人の間に立っていただいて、本場にスムーズに実習を進めることができました。就職後も時々学校に本人から電話が掛かってきます。就職を機に、電話を使えるようになり、話すようになり、学生時代とは違う成長が感じられています。

O：学校での授業の姿勢を見て、働く気持ちがあり、頑張れると思つた

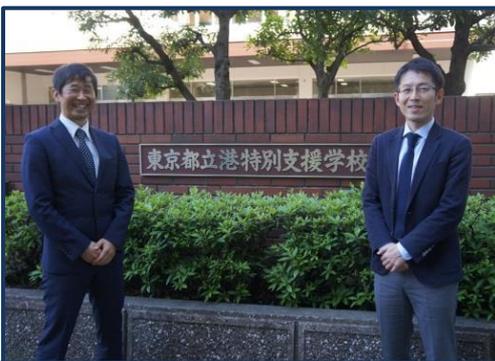
ら、実習に送り出しています。生徒たちもこの三年間の経験を通して本心に努力し、大きく成長しています。

Y：本心に大丈夫かどうか戸惑うこともありますが(笑)、「荻野さんの判断だったらいいですよ」と荻野に一任しています。

O：結果的に、企業に認められ、生徒の自信と成長につながっています。関係の皆様感謝しております。

—当事業へのご意見はありますか。

O：JCには実習を含め、初期定着をしつかりと支援してもらえるのが生徒本人にとっても大きなメリットです。障がい者雇用経験の少ない企業から以前は不安の声が聞かれることがありましたが、今では「JC支援があれば、当社でも実習を受け入れますよ」と言ってもらえるので、企業が増えています。JC支援のおかげで、企業、本人双方にWin-Winの関係を作れていると思えます。当校は生徒数も増えておりますので、これからも引き続き支援をお願いしたいです。



正門前にて

特定非営利活動法人 自立支援センターむく

江戸川区立障害者就労支援センター 鈴木 大樹 様 荒川 知子 様



**荒川 知子 様**  
1975年都職員として入職。その後福祉作業所、障害者施設勤務等を経て、2002年より江戸川区立障害者就労支援センター配属。

江戸川区立障害者就労支援センター

【指定管理者】  
今年4月、特定非営利活動法人 自立支援センターむくが運営開始。相談・授産・訓練の3部門がある。  
【特定非営利活動法人 自立支援センターむく】  
法人所在地：東京都江戸川区  
法人設立：2003年3月  
2000年在宅障害者のパソコンボランティア団体として活動開始。障がいのある方への自立生活支援から就労支援までの事業を展開している。

常に新たなチャレンジをしよう、という前向きな姿勢が法人としての成長の原動力です

―法人設立の経緯や事業の概要について教えてください。―

**鈴木様(以下S)**：肢体不自由の方が対象としたPC教室を開いたことが事業の始まりです。その後、企業で不要となったPCや関連機器をリサイクル・クリーニング販売する事業を始めました。この事業では、一〇年にマイクロソフト社のライセンスを無償で提供してもらえコストダウンを図れたことが大きな分岐点となりました。このことを機に、ソフト販路が開け、顧客拡大につながりました。〇三年に特定非営利活動法人の認可を受け、多岐に渡る事業を展開しています。多くの企業と連携を取っている点は私たちの法人の強みであると言えます。常に新たなチャレンジをしてみようという前向きな姿勢が法人としての成長の原動力になっていると思います。

―江戸川区立障害者就労支援センターの取り組みを教えてください。―

**S**：当センターは〇二年開所した歴史あるセンターです。相談部門では、今年度より平日夜間と土曜日にも開所時間を拡大しました。働く障害のある方が増えて



**センター長 鈴木 大樹 様**  
すみだ障害者就労支援総合センターでの統括管理責任者職を経て、今年4月就任。

いく中で、生活面を含めたニーズをキャッチし柔軟に対応することによって、よりスムーズな職場定着を図っていきたくと考えています。地域でご本人やご家族を支えています。地域で気軽に相談できる場所としてあり方がこれから求められているように感じています。授産部門では、就労移行支援事業所として知的障がいのある方を対象にサービスを提供しています。生産的な作業が多いため、利用者の方も働くことでのやりがいを実感しやすいと思います。特に農園訓練では、暑さ寒さに耐えうる体力を養えたり指示理解力を培えた環境があることは大きな強

「あの時の東京ジョブコーチの支援のおかげで今も働き続けられています」

みです。また、職業準備訓練と共に、各種講座やソーシャルスキルやマナーに関するトレーニングを通してスキルアップを図ることを目標としています。訓練部門では、就労に向けた実践的な作業訓練を行い、作業スキルや職業準備性の向上を目指しています。障害者手帳はあるけれど福祉サービスを望まない方にもご利用いただけます。

**荒川様(以下A)**：登録時の面談では見えてこない就労上の課題について、作業場面で確認し改善につなげていけるといいう環境があることは、当センターの大きな強みです。

―東京ジョブコーチ(以下、JC)をご利用いただいて、いかがでしたか。―  
**A**：JC事業の開始当時からとてもお世話になっています。当時からスピーディな対応で利用しやすい点、職場体験実習の支援にも入ってもらえる点等で大きな期待をいたしました。

JC支援を数年前に受けた障がいのある方のご家族から、いまだに「あの時のJCさんの支援のおかげで今も働き続けられています」と感謝のお声をいただくこともあります。他にもJC支援がなかったら就労継続できなかつたらどうという方が多くいらっしゃいます。私たち支援機関の人間が入りきれないところをJCの皆さんには助けてもらっていますし、現場で学ばせていただくこともとても多いです。定期的に支援の報告をくださり、丁寧に連携をとっていただける点も非常にありがたいです。

働く年数が長ければ長いほど、当事者にとって慣れ親しんだ支援センターの職員の訪問時には安定し

てしまい、企業が困っている日常の課題が表面に出てこないという事例もあります。客観的な視点からJCに現場を見てもらえるので、実状を正しく把握することができ、とても助かっています。また、支援を依頼する際、JCに重点的にお願いしたいことと私たちが担うべきことを整理することで、自身の役割を再認識できる気がします。

―荒川さんご自身は、どんな時にこの仕事のやりがいを感じますか。―  
**A**：働きたいと希望して相談に来られた方の就職が決まった時ですね。良かったね、とご本人と一緒に喜び合える瞬間にこの仕事のやりがいを感じます。

―貴センターの今後の展望、取り組みについてお聞かせ下さい。―  
**S**：地域で働くことを実現するため、地域の中小企業をどう支えていくかが喫緊の課題です。雇用経験のある企業のノウハウを未経験の企業と共有していく取り組みをまずは区内で展開していきたいです。



エントランスにて

## 東京ジョブコーチ支援室とは

東京ジョブコーチ支援室は、ご相談やご依頼の窓口であり、東京ジョブコーチが円滑に支援を行えるようにサポートしています。

対応するコーディネーターの主な業務内容は、以下のとおりです。

- ・電話等による支援のご相談やご依頼への対応
- ・障害者、企業、支援機関への当事業のご説明
- ・支援のご依頼内容とジョブコーチのマッチング調整
- ・企業、支援機関等を訪問し、事業説明に加え、インテーク面談の同席
- ・支援開始後は、支援場面での状況確認及びジョブコーチへのスーパーバイズ

コーディネーターは、ジョブコーチ支援経験や障害者の職場定着支援経験を有する専門的なスタッフです。お気軽にご連絡ください。

## ご利用にあたってのQ&A

Q：20日以内を目安とした支援とは、どのようなスケジュールになりますか？

A：一例ですが、新規就職の場合は、支援開始当初は、集中支援の期間とし、週当たり2～4日の手厚い支援を行います。

その後は、上記の経過を踏まえ、関係者間で現状の確認や支援の見直しを行い、更なる定着が図れるように支援を続けます。課題達成度に応じて、徐々に支援に入る頻度を減らし、支援終了前には関係者間でその後のフォローアップ体制を確認します。

表紙の絵：「大岡越前」 浅海 平（あさうみ ひとし）

### プロフィール

- 1990年頃～ 幼少から動物の絵を多く描いていたが、高校入学後に「侍」の絵を好んで描くようになり、現在ではほぼ毎日、紙の余白など、あらゆるところに描くようになる。
- 2003年 日本チャリティ協会「障害者カルチャースクール（現パラアートスクール）」へ通い、津田光郎先生、八木道夫先生、田部井月四先生に師事。
- 2008年～ 豊島区障害者美術展「ときめき想造展」に第一回から毎年出品。これまでに二度、「審査員特別賞」を受賞。
- 2010年～ ユニークな画風を活かし、社会福祉法人東京都知的障害者育成会 豊島区立目白福祉作業所の施設商品（現「メジロック」）に起用。商品を通して、多くのファンが生まれている。



浅海 平さん  
1974年生 豊島区在住

## Contact us

事業のご利用（支援依頼等）に関すること

東京ジョブコーチ支援室

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-3-39 STSビル3階

TEL(03)5386-7057 FAX(03)5386-2227

Eメール [tokyo-jc@ikuseikai-tyky.or.jp](mailto:tokyo-jc@ikuseikai-tyky.or.jp)

ホームページ <http://www.ikuseikai-tyky.or.jp/~iku-tokyo-jc>

事業全般、東京ジョブコーチ募集・研修に関すること

公益財団法人 東京しごと財団

障害者就業支援課 コーディネート事業係

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター8階

TEL(03)5211-2682 FAX(03)5211-5463

ホームページ <http://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>